



Newspaper in Education



生物から学ぶ川の美しさ

捕獲した生物と表の絵を見比べる児童―静岡市葵区の藁科川



静岡市立中藁科小（葵区）の5年生15人は28日、市内を流れる藁科川と安倍川で、生息する生物の種類で水質を判断する調査を行った。子どもたちに地元の川の美しさを知ってもらおうと国交省静岡河川事務所が企画した。

中藁科小 児童が水質調査

同事務所が「きれいな水」「ややきれいな水」「汚い水」「とても汚い水」まで4段階の水質にそれぞれ生息する生物の図柄を記載した表を用意した。児童は川に入って網で捕獲した生物を表の図柄と見比べ、川の水質を判定した。

地元の藁科川での調査では「きれいな水」に生息するカワゲラや「ややきれいな水」の生物に分類されるコガタシマトビゲラが多く発見された。森田琢海君（11）は「3センチのカワゲラを捕まえた。もともときれいな川だと聞いてたけれど、これからも絶対に

ゴミなどを捨てないようになりたい」と話した。

2012年6月29日朝刊 中部版

- ①「きれいな水」「ややきれいな水」「汚い水」「とても汚い水」で見られる生物を調べて書きましょう。
- きれいな水 ()
- ややきれいな水 ()
- 汚い水 ()
- とても汚い水 ()

②自分でできる川の水を汚さない方法を書きしょう。

年 組 名前

(小学校高学年 理科・総合)